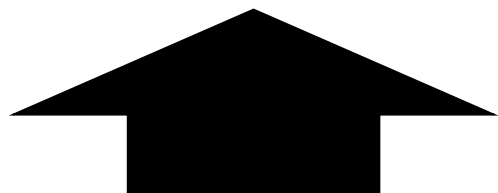


【プレス内覧会について】

- ・ 日時：9月15日（金）10：30～12：00（受付10：00～）
- ・ 会場：龍谷ミュージアム地下1階エントランスホール（堀川通方面からお入りください。）
※アクセス：<https://museum.ryukoku.ac.jp/guide/index.html#access>
- ・ 内容： ①展覧会の概要説明
②展示室内における主な展示品解説
③質疑応答、展示室自由観覧（13：00 まで）
- ・ ご参加いただける方は、下記の内容をご記入の上、メール又はFAXにてお申込みをお願いします。



FAX. 075-351-2577

<メール・FAX送信>

送信先：龍谷ミュージアム 宛
TEL.075-351-2500 FAX.075-351-2577
E-Mail. ryumuse@ad.ryukoku.ac.jp

秋季特別展「みちのく いとしい仏たち」プレス内覧会 申込書

貴社名	
媒体名	
所属部署	
ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご連絡先	TEL. E-mail.

内覧会のお申し込みは以下のサイトから行えます。

アート PR：https://www.artpr.jp/ryukoku-museum/event_preview/entry/260/269

※要会員登録（無料）



■ 展覧会の構成

第1章：ホトケとカミ / 第2章：山と村のカミ / 第3章：笑みをたたえる
第4章：いのりのかたち 宝積寺六観音像 / 第5章：ブイブイいわせる
第6章：やさしくしかって / 第7章：大工 右衛門四良 / 第8章：かわいくて かなしくて

■ 主な展示作品

展示の詳細の確認、広報用画像の利用申請、ダウンロードは以下のサイトから行えます。

アート PR : <https://www.artpr.jp/ryukoku-museum/the-beloved-gods-and-buddhas>

※要会員登録（無料）



①

如来立像

平安時代・11世紀

天台寺（岩手県二戸市）

画像提供 東北歴史博物館



②

伝吉祥天立像

平安時代・11世紀

天台寺（岩手県二戸市）

画像提供 東北歴史博物館



③

山神像

江戸時代

兄川山神社（岩手県八幡平市）

撮影 須藤弘敏



④

蒼前神騎馬像

江戸時代

岩手県八幡平市某社蔵（岩手県八幡平市）

撮影 須藤弘敏



⑤

厩猿像

江戸時代

二戸歴史民俗資料館（岩手県二戸市）

撮影 須藤弘敏



⑥

観音菩薩立像

江戸時代・貞享5年（1688）

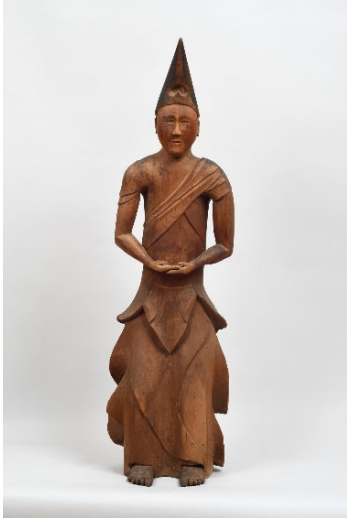
松川 二十五菩薩像保存会

（岩手県一関市） 撮影 須藤弘敏



⑦

六観音立像のうち馬頭観音立像
江戸時代
宝積寺（岩手県葛巻町）
撮影 須藤弘敏



⑧

不動明王立像
江戸時代
個人蔵（青森県五戸町）
撮影 須藤弘敏



⑨

多聞天立像
江戸時代・寛政2年（1790）頃
本覚寺（青森県今別町）
撮影 須藤弘敏



⑩

達磨像
江戸時代
個人蔵（青森県南部町）
撮影 須藤弘敏



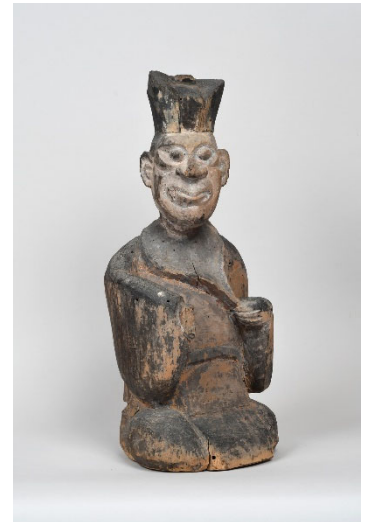
⑪

閻魔王像
江戸時代
黒石寺（岩手県奥州市）
撮影 須藤弘敏



⑫

十王像
江戸時代・寛永20年（1643）頃
朝日庵地藏堂（岩手県奥州市）
撮影 須藤弘敏



⑬

鬼形像

江戸時代

正福寺（岩手県葛巻町）

撮影 須藤弘敏



⑭

鬼形像

右衛門四良作 江戸時代・18世紀後半

法蓮寺（青森県十和田市）

撮影 須藤弘敏



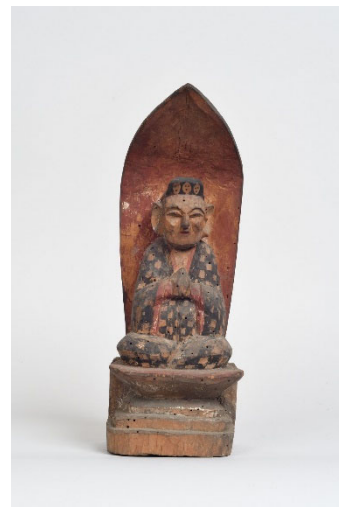
⑮

三十三観音坐像

右衛門四良作 江戸時代・18世紀後半

法蓮寺（青森県十和田市）

撮影 須藤弘敏



⑯

十王像

右衛門四良作 江戸時代・18世紀後半

法蓮寺（青森県十和田市）

撮影 須藤弘敏



⑰

童子跪坐像

右衛門四良作 江戸時代・18世紀後半

法蓮寺（青森県十和田市）

撮影 須藤弘敏



⑱

子安観音坐像

江戸時代

慈眼寺（青森県五所川原市）

撮影 須藤弘敏



■ 関連イベント

◆ 記念講演会 「みちのく いとしい仏たち」

日本の仏教美術を幅広く研究され、東北に伝わる文化財の調査に長年携わられた須藤弘敏氏に、みちのくの「民間仏」の世界とその魅力についてご講演いただきます。

(聴講無料／観覧券必要(観覧後の半券可)／龍谷ミュージアム HP から事前申込が必要)

日 時 10月29日(日) 13:30 ～ 15:00

会 場 龍谷大学大宮キャンパス東覺 101 教室

講 師 須藤 弘敏 氏(弘前大学名誉教授、本展監修)

1954 年青森県弘前市生まれ。東北大学大学院文学研究科博士前期課程修了。博士(文学)。主な著書に『絵は語る 3 高野山阿弥陀聖衆来迎図―夢見る力―』(平凡社、1994 年)、『法華経写経とその荘厳』(中央公論美術出版、2015 年)、『かわいい仏像 たのしい地獄絵―素朴の造形―』(矢島新氏との共著、パイ・インターナショナル、2015 年)などがある。
また青森県内の仏像の調査成果報告書として『下北の仏像』『南部の仏像』『津軽の仏像』(いずれも青森県)、『弘前の仏像』(弘前市)がある。

定 員 先着 150 名

◆ トークイベント「私と仏像 ～”仏像沼”にはまってみた～」

秋季特別展「みちのく いとしい仏たち」の開幕を記念して、お笑い芸人、お寺・仏像研究家のみほとけさんによるトークイベントを開催します。様々なメディアで活躍されているみほとけさんと一緒に、仏教美術の魅力と楽しみ方に迫ります。

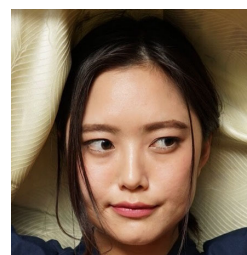
(聴講無料／観覧券必要(観覧後の半券可)／龍谷ミュージアム HP から事前申込が必要)

日 時 9月17日(日) 13:30 ～ 15:00

会 場 龍谷大学大宮キャンパス東覺 101 教室

登壇者 みほとけ さん(お笑い芸人、お寺・仏像研究家)

2015 年アイドルとしてデビューし、2016 年にはミス鎌倉を 1 年間務めた。2018 年アイドル卒業後、仏像・お寺の面白さを発信するべく、自身を本名の「みほ」と「ほとけ」を掛け合わせ「みほとけ」と名乗り、ピン芸人として再デビュー。自称「お寺・仏像研究家」として年間 100 以上のお寺を訪れており、拝観した仏像は 1 万体を超える。尊敬するものに近づきたいという気持ちから自身を愛する仏に扮して表現する「仏モノマネ」を SNS で公開するなど、幅広く活動中。



定 員 先着 150 名

◆ ギャラリートーク

展示室で学芸員が作品を解説します。

(聴講無料／当日の観覧券必要／事前申込不要)

日 時 9月23日(土・祝)・10月8日(日)・11月12日(日) 13:30 ～ 14:15

集合場所 龍谷ミュージアム 3階展示室入口

※ギャラリートークの時間は会場が解説で騒がしくなります。ご了承ください。

◆ スペシャルトーク

講義室で学芸員が展覧会の見どころを解説します。

(聴講無料／観覧券必要(観覧後の半券可)／事前申込不要)

日 時 9月30日(土)・10月14日(土)・10月22日(日)・11月3日(金・祝)
13:30 ～ 14:15

会 場 龍谷ミュージアム 101 講義室

定 員 先着 30 名

◆ ナイトミュージアム・ギャラリートーク

10月6日(金)・10月13日(金)・10月20日(金)・10月27日(金)は 20:00
(入館は 19:30) まで開館時間を延長します。

また、18:30 より展示室で学芸員が作品を解説する ギャラリートーク(聴講無料／当日の観覧券必要／事前申込不要) を開催します(45分程度)。

※ギャラリートークの時間は会場が解説で騒がしくなります。ご了承ください。

◆ オープニング記念プレゼント

9月16日(土)・17日(日)・18日(月・祝)は各日先着30名様に
龍谷ミュージアムオリジナルグッズの付箋をプレゼントします。



以 上